

総合型選抜

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2024年3月までに取得見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

■出願期間・試験日・合格発表

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間(予定)	評価通知日(予定)	出願期間	試験日	合格発表
A日程	9月 1日(金)～ 9月 7日(木) 15時必着	9月23日(土) ～ 10月 8日(日)	10月17日(火)	10月26日(木) ～ 11月 1日(水) 15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	12月 1日(金)10時
B日程	11月 1日(水)～ 11月 6日(月) 15時必着	11月25日(土) 11月26日(日)	12月 1日(金)	12月 5日(火) ～ 12月 8日(金) 15時必着	12月16日(土)	12月22日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 第一次選抜の面接日は、上記面接期間の土曜日または日曜日に実施をします。
- ・ A日程第二次選抜の試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は可否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで可否を確認することができます。

■試験場

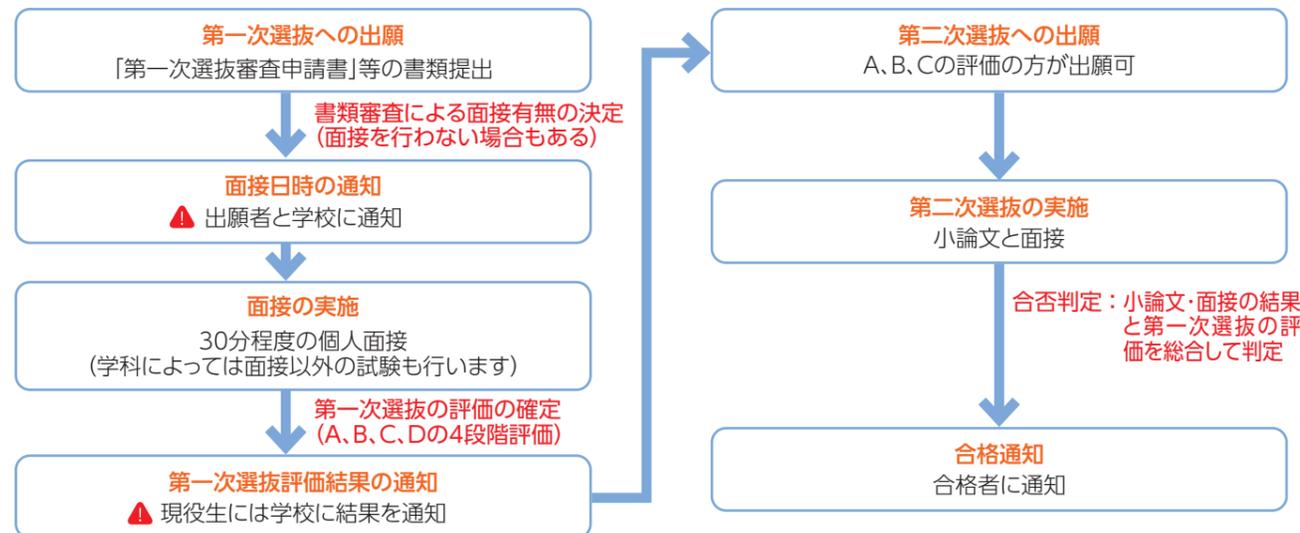
	全学部全学科
第一次選抜(A・B日程共通)	五橋キャンパス
第二次選抜(A・B日程共通)	土樋・五橋キャンパス

⚠ 9月22日訂正
総合型選抜第一次選抜の「面接日時の通知」と「第一次選抜評価結果の通知」はWeb出願サイトにて受験生へ直接通知する形式に変更となっております。

■入学検定料

第一次選抜 10,000円 第二次選抜 23,000円

■選抜方法



第一次選抜

出願時に「第一次選抜審査申請書」を提出し、提出書類の内容を中心に書類審査と面接を行います。書類審査と面接(学科によって面接以外の審査もあります)によって、4段階(A、B、C、D)評価をします。評価結果は、評価通知日に出願者の在学高校へ(既卒の方には自宅へ直接)発送します。ただし、書類審査の結果により面接を行わない場合もあります。

◆第一次選抜の評価

第一次選抜の4段階評価(A・B・C・D)の内容は次の通りです。なお、第二次選抜はA～C評価の方のみが出願できます。

評価結果	評価内容
A	特段の事情がないかぎり合格とする
B	合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる
C	不合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは合格もありうる
D	不合格とする

◆特定の学科における審査について

以下の学科では書類審査・面接以外の審査等があります。確認してください。

学 科 名	説 明 内 容
英文学科	英文学科では一定の英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映します。詳細は総合型選抜募集要項(第一次選抜)で確認してください。
経済学科	経済学科では1組4人程度でグループ・ディスカッションを行います。所要時間は40分程度です。試験開始時にディスカッション用の資料が配られ、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめます。その後30分で、出題されたテーマについて討論を行います。
法律学科	法律学科では「法または政治」に関して下記に提示されたテーマから1つを選び、調べた内容、自分の考えなどを5分程度でプレゼンテーションしてもらいます。それらについて論理的に道筋を立てて表現することができているかなどを総合的に評価します。今年度のプレゼンテーションのテーマは「ロシアによるウクライナ侵略のどこが問題か?」「SNS上の表現の自由は規制することができるか?」の2つです。なお自分で作成した紙面での資料を用意して構いません。その際にはご自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。
地域コミュニティ学科	地域コミュニティ学科では、「よりよい地域づくり」のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度のプレゼンテーションしてもらいます。取り上げる内容への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などが総合的に判断されます。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。
政策デザイン学科	政策デザイン学科では「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに、自分で調べた内容を5分程度でプレゼンテーションしてもらいます。発表の方法は①スケッチブックやコピー用紙など、手で持てるサイズの紙面に発表内容をまとめ、提示しながら口頭で説明する方法(ご自身のもの以外に、2部同じ資料を用意ください)。②大きな模造紙に発表内容をまとめ、黒板に貼り、提示しながら口頭で説明する方法の2通りです。(電子機器を利用した発表はできません)

【ポイント】法律学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションについて

〈法律学科〉

法律学科ではプレゼンテーションの準備や発表のヒントを「総合型選抜の手引き」として法学部のウェブページに掲載しています。資料作成や発表準備の参考にしてください。
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/sougou.html>

〈政策デザイン学科〉

プレゼンテーションのテーマについては、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。また地域社会の課題というのは、少子高齢化、地域福祉、地方財政、経済格差、地域振興、労働問題、災害と復興、市民活動、ジェンダー、多文化共生、差別問題などです(これ以外でも構いません)。なお、プレゼンテーション内容が第一次選抜審査申請書の「探究学習」と内容が同じでも構いません。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切にできているか」です。